

触読点字 e-learning マニュアル

1. 動作環境

触読点字 e-learning の動作には、以下の環境が必要です。

ハードウェア

ハードディスク 2MB 以上の空き領域

対応点字ディスプレイ

ケージーエス株式会社の点字ディスプレイのうち

ブレイルノート BN20A、ブレイルノート BN40A、ブレイルノート BN46C、
ブレイルノート BN46D、ブレイルノート BN46X、ブレイルメモ BM16、
ブレイルメモ BM24、ブレイルメモ BM46、ブレイルメモポケット BMPK、
ブレイルテンダーBT46

ソフトウェア

Microsoft WindowsXP SP3 以降

Microsoft .NET Framework 3.5 以降

Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージ

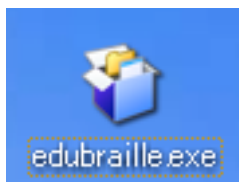
(マイクロソフトのホームページから無料でダウンロード可能です)

Internet Explorer 8.0 以降、Firefox 3.6.8 以降または Safari 4.0.5 以降

2. 点字ディスプレイドライバのインストール

2.1 インストール手順

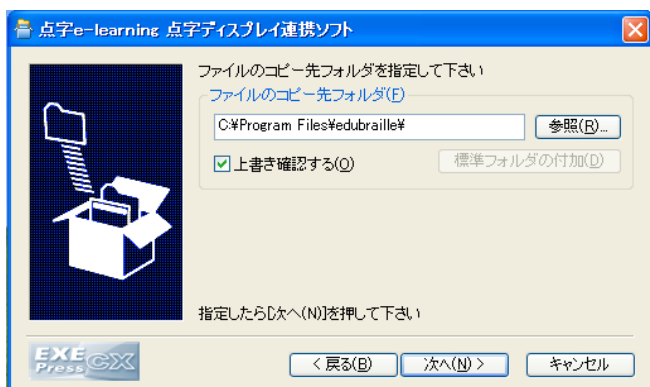
ダウンロードした「edubraille.exe」をダブルクリックします。



インストールプログラムが起動します。[次へ(N)]ボタンをクリックします。

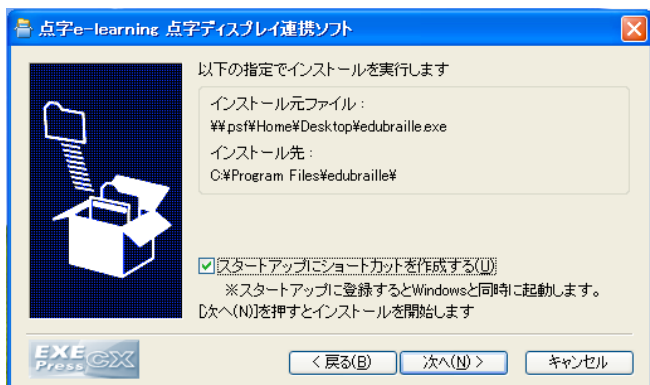


インストール先フォルダを指定して[次へ(N)]ボタンをクリックします。



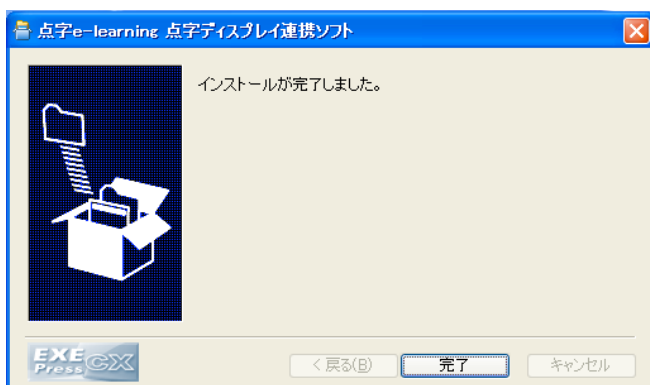
インストール内容を確認し、[次へ(N)]ボタンをクリックします。

Windows の起動時に点字ディスプレイドライバを自動起動する場合、[スタートアップにショートカットを作成する(U)]にチェックを入れてください。



インストールが完了すると、「インストールが完了しました」と表示されます。

[完了]ボタンをクリックしてインストールプログラムを終了します。



以上でインストール作業は完了です。

2.2 アンインストールの手順

インストールしたファイルを、フォルダごと削除してください。

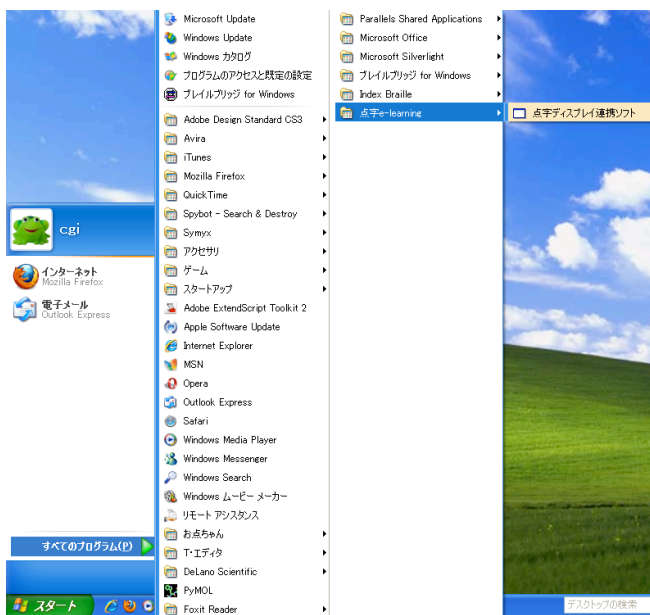
デフォルトのインストール先フォルダは、C:%Program files%edubraille%です。

3. プログラムの使用方法

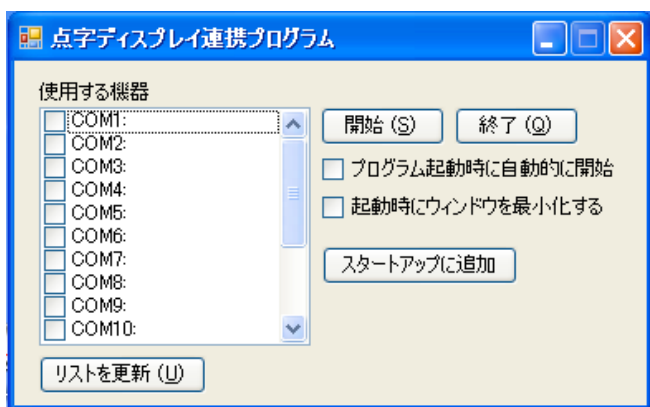
3.1 プログラムの起動方法

まず、点字ディスプレイをコンピュータに接続し、電源をONにします。

次に、スタートメニュー→すべてのプログラム→点字 e-learning→点字ディスプレイ連携ソフト を起動します。



プログラムが起動すると、以下のウィンドウが表示されます。



(各部の機能)

[使用する機器]…コンピュータに接続された点字ディスプレイ機器が表示されます。
また、点字表示命令を送信する機器をチェックボックスの ON/OFF で選択することも可能です。

[リストを更新(U)]…接続されている点字機器の再読み込みを行います。

[開始(S)]…ブラウザからの制御命令の待ち受けを開始します。
待ち受け動作中は **[停止(H)]** ボタンが表示されます。

[終了(Q)]…プログラムを終了します。

[プログラム起動時に自動的に開始]…プログラム起動と同時に、待ち受けを開始します。

[起動時にウィンドウを最小化する]…プログラム起動時にウィンドウを最小化し、タスクバーに格納します。

[スタートアップに追加]…本プログラムをスタートアップに追加します。

[開始(S)] ボタンをクリックした後、触読点字 e-learning の Web ページにブラウザでアクセスしてください。

3.2 プログラムの終了方法

ウィンドウ右上の×ボタンをクリックするか、**[終了(Q)]** ボタンをクリックしてください。

スリープから復帰した際、点字ディスプレイが VMWare 上の WindowsXP に認識されなくなる問題について

Macintosh 上の VMWare で Windows を動作させている場合、Mac 本体がスリープから復帰した際に点字ディスプレイが認識されなくなる場合があります。この場合、以下の手順で復帰操作を行ってください。

1. コンピュータに接続している USB デバイスを全て外します。
2. 電源を切った点字ディスプレイを USB ポートに接続し、電源を入れます。
→VMWare のウィンドウの右下に USB のアイコンが出現します。
3. スタートメニューから「kbdc (待機モード)」を起動します。
(スタート→すべてのプログラム→BM シリーズ機器用ユーティリティ→kbdc(待機モード))

4.1 待機ポートに点字ディスプレイが表示されている場合 (右図)

「終了」をクリックして KBDC を終了後、デーモンプログラムを起動してください。

4.2 「接続に失敗した」と表示される場合

「削除」をクリックしてリストからデバイスを削除します。

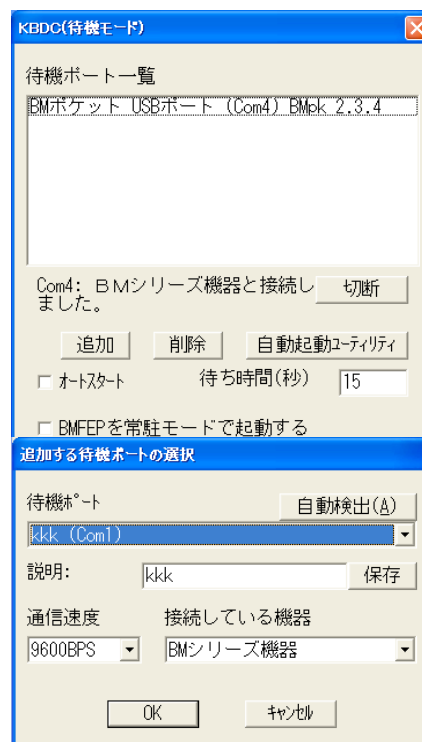
「終了」をクリックして KBDC を終了します。

KBDC を再度起動し「追加」をクリックします。

「追加する待機ポートの選択」ウィンドウが表示されたら、「自動検出」をクリックします。

エラーが表示されなければ「OK」を選択してウィンドウを閉じた後、「終了」をクリックして KBDC を終了する。デーモンプログラムを起動します。

「デバイスが見つからない」エラーが発生した場合は、Windows と VMWare を一度終了してください。再度 VMware と Windows を起動した後、KBDC を起動し、1～4 の操作を行ってください。



触読点字 e-learning 操作マニュアル

2010年8月3日
神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科学分野
ゲノム医療実践学部門